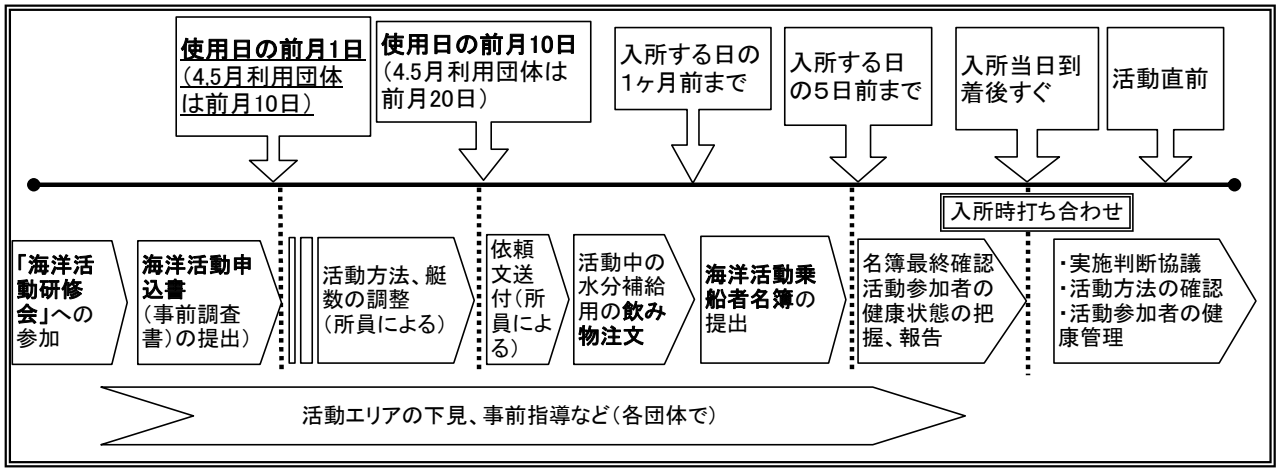
令和2年度　静岡県立焼津青少年の家

海洋活動（カヌー漕艇）実施の手引き

◇実施までの流れ◇



目次

P1　海洋活動（カヌー漕艇）

P2　海洋活動実施までの流れ

P4　海洋活動が実施される条件

P5　海洋活動申込書（事前調査書）【記入例】

P6　集団宿泊研修における海洋活動について（依頼）【見本】

P7　海洋活動乗船者名簿【記入例】

P8　海洋活動における地震、津波への対応について

P9　活動参加者への注意事項【事前指導の資料】

P10　海洋活動に参加するみなさんへ【事前指導の資料】

P12　海洋活動研修会実施要項

P13　海洋活動研修会参加申込書

P14　海洋活動申込書（事前調査書）

P15　海洋活動乗船者名簿

提出用（コピーして御使用ください。）
ホームページからダウンロード可

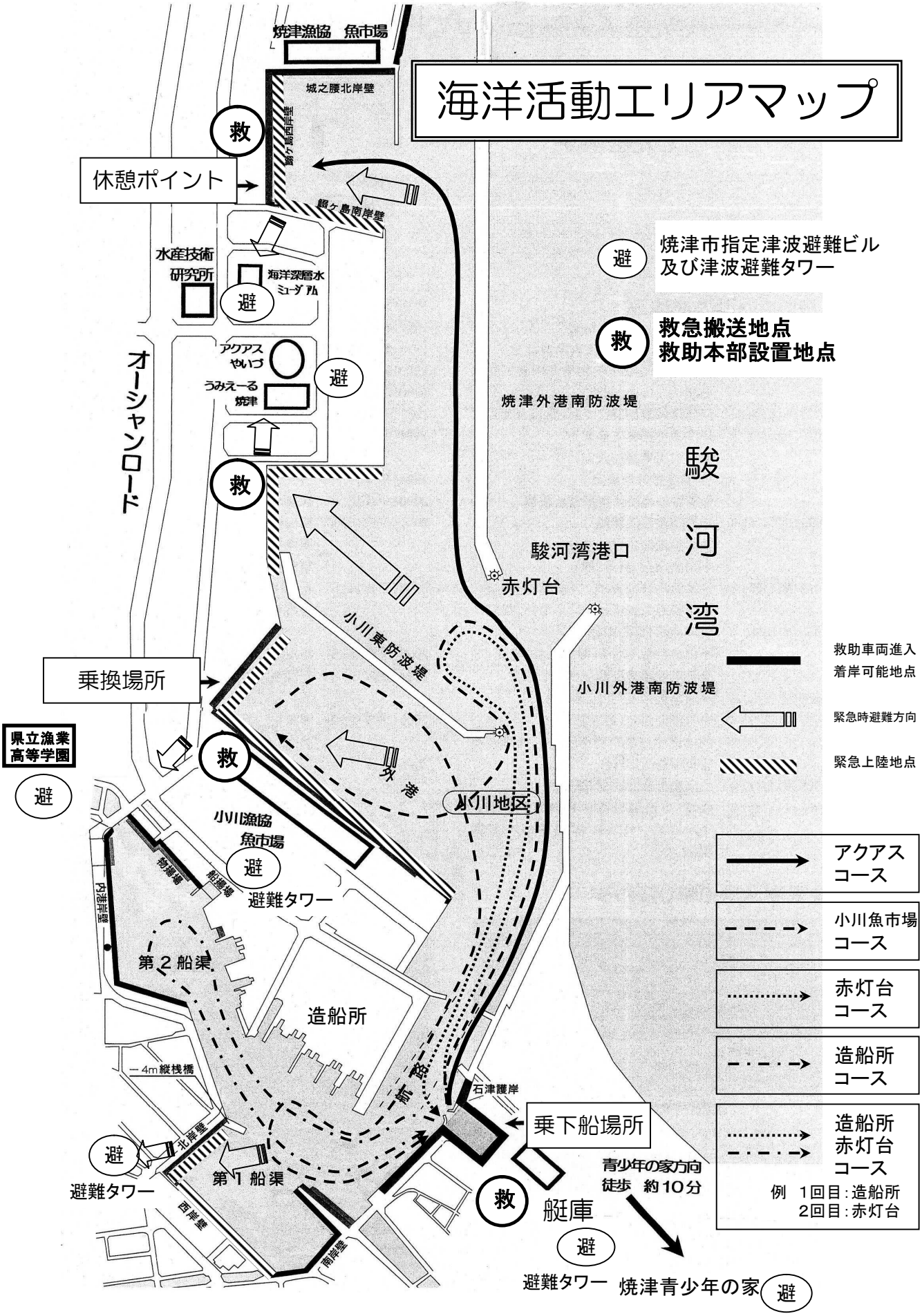
P16　参考資料　乗船者名簿の座席指定・座席番号札について

【海洋活動の安全体制における、団体指導者にお願いする役割と責務について】

① 海洋活動の内容の理解と計画立案及び団体指導者間での内容と目的についての共通理解
② 活動参加者への事前指導（意義、目的、安全指導等）の徹底
③ 活動参加者の人数と健康状態の管理、把握、乗船者名簿の作成と活動参加者への周知
④ 当日の活動実施についての諸条件の確認、所員との協議、団体指導者間での情報の共有、徹底

※　海洋活動を安全かつ有意義なものとするため、団体指導者の皆さんの御協力をお願いします。

海洋活動エリアマップ



改：2020年2月

海　洋　活　動（カヌー漕艇）

１　ねらい（めあて）

（１）【自然(海)を感じよう】

・　波、風、潮、生物、人との関わり、美しさ、厳しさなどを五感を通して感じ取る。

・　海から、街の様子を眺める。（普段とは違う視点で風景を捉える。）

（２）【力を合わせよう】

・　協力する大切さ、すばらしさ、尊さを学ぶ。

（３）【あきらめないで最後まで】

・　忍耐力、根気強さ、達成感を味わう。

※　ねらいについては、団体の活動目的に関連付け明確にしておくと、より良い体験となります。単なる遊びにならないよう動機付けをするとよいでしょう。

２　活動できる年齢

・　満年齢３歳以上

※　３歳から就学前の幼児が乗船する場合は、３歳から就学前の幼児１人に対して１人以上の大人（団体指導者・保護者等）が付き添うこと。

※　小学１～３年生が乗船する場合は、小学１～３年生２人に対して１人以上の大人（団体指導者・保護者等）が同乗すること。

３　活動できる期間　　４月１日から 10 月 31 日までの７か月間

４　カヌーの乗船人数（保有数８艇）

・　１艇８座席（中学生以上は最大８人まで、小学生は１座席２人掛けにして最大で 16 人の乗船も可能）

・　８座席とは別に、最後尾の座席には艇長（本所海洋指導員）が乗船し、舵取りを行う。

・　参考にＰ16 を御覧ください。

海洋活動実施までの流れ

＜入所日前日まで＞

１．目的やねらい	どのような目的やねらいで実施するのか、団体として明確にしておいてください。決して遊び気分で行うことがないようにしてください。

⇩

２．海洋活動研修会への参加	海洋活動における規定、乗船条件、安全体制等の運営詳細については、海洋活動研修会で説明します。また、実際に漕艇活動を行っていただき、活動に対する理解を深めていただきます。 **※　団体指導者が海洋活動研修会に参加をしていない場合は、海洋活動を実施することができません。**

⇩

３．海洋活動申込書の記入、提出 **記入例…Ｐ５** **用紙　…P14** **使用日の前月１日まで（4，5月利用団体は前月10日まで）に提出**	以下の点を考慮して、記入してください。 ・　団体の目的 ・　目的に合う活動方法、コース ・　団体の規模（人数）で可能な方法、コース ・　安全に活動するために、本所所員に伝えておくこと （団体の構成、配慮を要する活動参加者等） **※　不明な点があれば所員に御相談ください。** 海洋活動は気象条件により中止となる場合がありますので、必ず代替案を立ててください。 **海洋中止（波浪、小雨など）→屋外活動は実施できる→屋外活動** **海洋中止、屋外活動も中止（大雨、雷など）→屋内でできる活動**

⇩

提出された海洋活動申込書をもとに、担当所員が乗船計画案を作成します。
（団体の規模、他団体との希望の重なり等により、希望に添えないことがありますので御了承ください。）

４．乗船者名簿作成提出 **記入例…Ｐ７** **用紙　…P15** **参考　…P16** **入所日５日前までに郵送、FAX、メールで提出** 事前準備、指導	使用日前月 10 日過ぎに**「本所利用における海洋活動について」（Ｐ６）**が送付されます。そこに記載された乗船計画（実施艇数等）を確認し、乗船者名簿を作成、提出してください。乗船者名簿の控えを活動中携行してください。 **※　提出後に名簿に変更が生じた場合には、ただちに連絡してください。** **※　緊急時に備え、緊急連絡先名簿を携行してください。** ・　別紙**「活動参加者への注意事項」（Ｐ９）**及び**「海洋活動に参加するみなさんへ」（P10～11）**を参考に、団体で事前指導をしておいてください。 ・　海洋活動を計画される団体には、**熱中症予防のためにドリンクをお飲みいただきます。**ドリンクの扱いはＰ９「水分補給について」を御覧ください。

＜入所日当日＞

５．入所時打合せ	「乗船者名簿」を確認します。 **※　欠席者、体調不良者等による座席の変更がある場合は確実に所員に伝えてください。**

⇩

６．実施協議 **午前の活動…　8:35** **午後の活動…12:30**	本所事務室にて、以下の点について担当所員と団体指導者で行います。 ・　実施可否の判断、気象状況等の説明 ・　活動内容、コース等の確認（海洋活動申込書をもとに） ・　活動参加者の人数及び健康状態の確認 ・　活動開始までの流れを説明 ・　（中止の場合）代替活動についての確認、連絡 **※　実施される条件は、「海洋活動が実施される条件」（Ｐ４）に記載されています。**

⇩

７．本所出発 艇庫へ移動 **午前の活動…　9:00** **午後の活動…13:00**	団体指導者の引率で、艇庫へ移動します。出発前に、以下の点を確認してください。 ・　服装、持ち物を確認する。（服装が整っていない活動参加者は乗船ができません。） ・　トイレを済ませる。 ・　乗船する艇ごとに座席順で整列する。 **※　出発時刻の遅れが活動の遅れにつながります。時間を厳守して出発してください。** ※　乗船前のレクチャーは艇庫に行く前に所内で行う場合もあります。

⇩

本所から艇庫までは、約700m（徒歩で10分程度）です。

８．艇庫到着 活動開始	担当所員、海洋指導員の指導で活動を行います。乗船前にレクチャーを行います。 活動中の団体指導者の役割は以下のとおりです。 ・　安全担当所員、艇長と最終ミーティングを行い、コース状況や配慮すべき活動参加者について確認する。 **※　最終協議とし、記録に団体責任者の署名をいただきます。** ・　活動参加者とともにカヌーに乗船する。（全ての艇に乗船する必要はありません。） ・　乗船者名簿を携行する。活動参加者の健康状態に気を配る。休憩時や乗換え時に活動参加者の健康観察をする。緊急時に備え、緊急連絡先名簿を携行する。 ・　休憩時にドリンクの配布と空容器の回収をする。（レストラン部への注文品は、休憩場所への運搬、回収した空容器の運搬は所員が行います。Ｐ９参照）

⇩

９．活動終了　帰所 **午前の活動…11:50** **午後の活動…15:50**	担当所員が艇庫で活動の振り返りを行い、団体指導者の引率で帰所します。

海洋活動が実施される条件

令和２年度　静岡県立焼津青少年の家
「海洋活動に関する安全体制について」より抜粋

１　乗船条件

海洋活動に参加する者のすべては、心身ともに健康であり、以下の基準を満たすものとする。

（１）海上において、船体の揺れに対応して、姿勢を保持することができる。

（２）万一の落水の際に、安全な状態で救助を待つことができる。

（３）満年齢３歳以上

※３歳から就学前の幼児が乗船する場合は、３歳から就学前の幼児１人に対して１人以上の大人（団体指導者・保護者等）が付き添うこと。

※小学１～３年生が乗船する場合は、小学１～３年生２人に対して１人以上の大人（団体指導者・保護者等）が同乗すること。

２　活動実施の条件

気象条件等が活動に支障をきたすと考えられる場合、所長（所長から委任された所員を含む。）は、引率責任者及び海洋指導員と協議の上、活動可否の決定をする。決定の際には、地元気象状況等に精通した海洋指導員の助言を尊重の上、判断する。

（１）注意報警報発表による活動中止については午前中の活動は午前８時 35 分、午後の活動は午後０時 30 分の時点で決定する。（活動中止の判断は、注意報警報の内容による。）

（２）注意報発表時においては、「気象条件における活動中止の基準」に従い、実施可否を判断し、実施の際には、本部担当者が気象情報を監視し、15 分ごとに情報を活動担当者に無線連絡しながら活動を行う。監視の結果、異常があった場合には、ただちに活動休止等の対応をとる。

（３）その他の状況については、所員による情報収集、気象条件や活動エリアの点検を待って決定する。また、必要に応じて、随時、本部担当者が情報を収集し活動担当者（安全担当）に連絡する。

気象条件における活動中止の基準

次の（１）から（７）の場合は、活動を中止する。

（１）当日の焼津市の天気予報で、大雨、洪水、暴風、波浪、高潮のいずれかの警報（特別警報含む）が発表されているとき。

（２）当日の焼津市に注意報が発表されている場合に、注意報の内容と活動現場の気象状況とを総合的に分析し、安全に活動が行えないとき。

（３）注意報未発表でも、安全な活動が行えないと判断したとき。

（４）活動中に、活動エリアにおいて、局地的に短時間で気象が悪化すると予想されたとき。

- 急激な風速の上昇、突風の発生が予想される。
- 雷雲の発生が予想される。
- 雨量の急激な増加が予想される。
- 観天望気による、天候の急変の兆候が見られたとき。

（５）光化学オキシダント注意報が発表されているとき。

（６）竜巻注意情報が発表されているとき。

（７）雨、風、海の状態については、注意報等の情報に加え、現場の観察により活動参加者の年齢構成、人数、活動の規模に応じて基準をもとに判断し、引率責任者にその結果を報告して必要に応じ協議する。そのうえで、安全に活動を行うことが困難なときには活動を中止する。

その他の活動中止の基準

（１）活動参加者の健康状態及び研修態度等により、海洋活動を行うのに適切でないと判断されるとき。

（２）現場海域の船舶の動向、工事や漁業作業等により、安全な活動が行えないとき。

（３）その他、活動担当者が安全な活動を行うのに適切でないと判断したとき。

記入例

海洋活動申込書(事前調査書)

※ 利用申込書とあわせて、使用日の前月1日(4月、5月利用団体は使用日の前月10日)までの提出をお願いいたします。
※ 海洋活動研修会の内容を御理解の上、団体の活動目的に応じて御記入ください。

団体名	○○市立○○小学校　第4学年			担当者氏名	静岡　太郎
電話番号	054－○○○－□□□□	FAX番号	○○○－△△△△	海洋活動研修会参加日	5　月　24　日　☐参加済み・☑予定
活動予定日	6月　16日(　火　)　午前　(午後)			予備日の設定(希望) ※御希望に添えない場合もあります。	(あり) → 6月　17日(水)(午前)・午後 なし

研修会の参加は必須です。
参加日を記入してください。
(研修会の申し込み等詳細はP１２)

1. 海洋活動の実施について(この研修をするにあたっての目

①　(　　)	体験重視(自然活動の体験、海を楽しむ活動)	要
②　(　　)	運動重視(負荷をかけ、心身の鍛練をはかる)	・ 皆で協力することの大切さを感じさせたい。
③　(○)	行動重視(規律訓練、集団行動、チームワークの育成)	・ 互いのがんばりを認め合えるようにしたい。
④　(　　)	その他　団体の活動目的、目標のため	

2. 活動方法についての希望　※ コースについては「海洋活動エリアマップ」(『海洋活動の実施の手引き』表紙裏)を参照

コース選択	コース名	概要
①　(○)	造船所・赤灯台コース	全艇での活動、艇庫休憩、徒歩移動なし(1回目:造船所、2回目:赤灯台)
②　(　　)	赤灯台コース	乗換えでの活動、艇庫上陸乗船者交代、徒歩移動なし
③　(　　)	アクアスコース	全艇往復での活動、鰯ヶ島岸壁上陸休憩、休憩地点までの徒歩移動不可
④　(　　)	小川魚市場往復コース	全艇往復での活動、小川魚市場上陸休憩、乗り換えなし
⑤　(　　)	小川魚市場乗換コース	乗換えでの活動、小川魚市場上陸乗船者交代、半数は徒歩移動
⑥　(　　)	その他【短縮コース等】	短い造船所コース、その他短縮での活動 など ・・・ 要望等にお書きください。

＜要望等＞　※ コースは実施当日の天候や状況により、御希望と異なる場合があります。
※ 諸事情により活動の御希望に添えない場合があります。

・休憩時に、焼津の海や見える景色について話をしてもらいたい。

3. 乗船者について　※ 希望艇数については「参考資料」(『海洋活動の実施の手引き』P16)を参照

乗船者										希望艇数
研修生	男	42 人	指導者	男	3 人	計	男	45 人	合計 86 人	7 艇
	女	39 人		女	2 人		女	41 人		

配慮を要する研修生について(活動への参加状況など)　※ 記載された情報は海洋活動を安全に行う目的以外には使用しません。

・○○　○美…多動傾向あり。薬を服用していれば落ち着く。担任が同乗する予定。
・□□　□雄…長期の入院から退院して間もないため、体力が心配。
・△△　△男…ぜんそく。養護教諭が同乗する。
・◇◇　◇恵…不登校傾向。当日参加しない可能性有。

実際に乗船する人数
(陸上待機の人数は含めない。)

4. ドリンクについて

☑ レストラン部に注文済み
☐ レストラン部に注文予定
☐ 団体で用意

いずれかを選択
(ドリンクの扱いは
Ｐ９水分補給について)

5. その他要望等

・陸上待機の職員移動用に自転車2台借用希望

受付	班長	事業班員	海洋担当
月			

様式改:2020年

静岡県立焼津青少年の家

見　本

令和２年　月　日

○○○○○○学校　研修担当者　様

静岡県立焼津青少年の家
海　洋　活　動　担　当

本所利用における海洋活動について

この度は、貴団体の研修に当所を御利用いただき、誠にありがとうございます。
さて、海洋活動は当所のメインプログラムであるため、希望される団体も多く、また安全上の配慮が必要な活動でもあります。つきましては、円滑な実施のため、貴団体の海洋活動を下記のとおり調整させていただきましたのでお知らせいたします。

記

	第　１　回	第　２　回（予備日）
実施日時	月　　日（　）　午前・午後	月　　日（　）　午前・午後
使用艇数	艇	艇
艇　　№	号艇　～　　号艇	号艇　～　　号艇
コ　ー　ス	（　　）造船所・赤灯台コース （　　）赤灯台コース （　　）アクアスコース （　　）小川魚市場往復コース （　　）小川魚市場乗換えコース	（　　）造船所・赤灯台コース （　　）赤灯台コース （　　）アクアスコース （　　）小川魚市場往復コース （　　）小川魚市場乗換えコース
そ　の　他	・艇№の欄に、数字の記載がない場合は、使用するカヌーは１号艇からです。 ・状況に応じて、コースを変更する場合があります。 ・「造船所・赤灯台」、「赤灯台」コースは、艇庫での乗換えです。	

活動までに準備していただくことなど

１　乗船者名簿の作成及び提出

カヌーの数により各艇に８人～16 人の人数を割り振り、活動グループを作成してください。
・活動グループごとに、座席を決めておき、研修生が覚えておくよう御指導ください。
・１番席及び８番席は必ず配置してください。詳細は海洋活動（カヌー漕艇）実施の手引きを参照
・「乗船者名簿」の様式は、本所ホームページからダウンロードできます。
・乗船者名簿の提出は、<u>入所日の５日前まで</u>に「焼津青少年の家」必着でお願いします。
（ ＦＡＸ：０５４－６２３－０７６８，電子メール ： YCC-yaizu01@pref.shizuoka.lg.jp ）

２　団体指導者の乗船について

研修生といっしょにカヌーに乗船し、指導監督していただきます。活動時に１人以上の団体指導者がいずれかの艇に乗船してください。（全ての艇に指導者が乗船する必要はありません。）乗船する指導者についても乗船者名簿に氏名を御記入ください。乗船しない指導者については、車両（自動車、自転車）、徒歩等で休憩場所に移動し、陸上から活動を支援していただくことになります。
※　全艇に、艇長（海洋指導員または本所の所員）が乗船し、舵取りを行います。

３　活動者への事前指導

海洋活動（カヌー漕艇）実施の手引き**「活動参加者への注意事項」**（Ｐ９）及び**「海洋活動に参加するみなさんへ」**（Ｐ10、11）の内容について、研修生へ事前に御指導をお願いいたします。

担　　当　事業班　海洋活動担当
電話番号　０５４－６２４－４６７５

焼津青少年の家　海洋活動　乗船者名簿

○ 月　○ 日（ 午前　午後 ）	艇数： 3	団体名： 焼津青少年クラブ	記入者氏名： 焼津　太郎
			乗船者人数計： 29

☆＝声出しリーダー　○＝団体指導者　　特に配慮が必要な研修生は打合せで確認します。

		1号艇	2号艇	3号艇	4号艇	5号艇	6号艇	7号艇	8号艇
往復・往路・復路・第1回目・第2回目・第3回目	1 右	焼津　一郎	小川　一郎	石津　一郎					
	1 左								
	2 右								
	2 左	焼津　二郎	小川　二郎	石津　二郎					
	3 右								
	3 左	焼津　三郎	小川　三郎	石津　三郎					
	4 右	焼津　四郎	小川　四郎	石津　四郎					
	4 左			石津　五郎					
	5 右	焼津　五郎	小川　五郎	石津　六郎					
	5 左		小川　六郎	石津　七郎					
	6 右	焼津　六郎	小川　七郎	石津　八郎					
	6 左		小川　八郎	石津　九郎					
	7 右								
	7 左	焼津　七郎	☆小川　九郎	石津　十郎					
	8 右								
	8 左	☆焼津　八郎	○焼津　太郎	☆石津　花子					
乗船者数		8	10	11					
※艇長									
※確認		乗船 下船 乗船 下船 □□□□	乗船 下船 乗船 下船 □□□□	乗船 下船 乗船 □□□			下船 乗船 下船 □□□□	乗船 下船 乗船 下船 □□□□	

この「乗船者人数計」は、この１枚の名簿上の人数。

１番席は必須（空席不可）

この乗船者名簿が、往復、往路、復路、第１回目、第２回目、第３回目のうち、どの活動のものになるのか、○をつけてください。

８番席は必須（空席不可）

この記入例では　配置の例としてあえて8人、10人、11人とし、ばらつきがありますが、なるべく均等な人数配置をしてください。

名簿作成上の注意

- 様式は最新版を使用する。　令和2年に改訂しました。
  一つの座席に１人掛けでも、左右指定してください。
  この1号艇は、全席一人掛けの場合、左右どちらに配置するかの参考にしてください。　左側：２・３・７・８番　　右側：１・４・５・６番
- 様式を変更しない。
  提出いただいた名簿を海洋活動中に所員が使用します。
- 乗船者が８人以上の場合は、空席をつくらないようにする。
  ８人未満の場合は、１番席と8番席は空席にしない。
- 前詰め、後詰めせず、バランスよく配置する。
- 声出しリーダー、団体指導者は８番席にする。両方とも乗船する場合は、声出しリーダーを７番席、団体指導者を８番席にする。　氏名の左に☆、○マーク
- ２番席と３番席との間、７番席と８番席との間には、アームがあり、右側は漕ぎにくいため、なるべく2人掛けを避ける。
- この他にP１６の説明も参考にしてください。

記入例

- ※欄は記入しないでください。1座席に2人座る場合は、2人記入してください。（上段が右席、下段が左席）
- 1番席及び8番席は空席にならないようにしてください。前詰め、後詰めせず、各席に均等に配置してください。
- 声出しリーダーや団体指導者は、8番席でお願いします。　両方乗船する場合は、声出しリーダーが7番席、団体指導者が8番席になります。
- 欠席や体調不良で乗船者に変更があった場合は、必ず御連絡ください。連絡後は左席・右席も含め座席変更はできません。
- 入所日の5日前までに「焼津青少年の家」に必着で提出をお願いします。（FAX, Email可:054－623－0768 YCC-yaizu01@pref.shizuoka.lg.jp）
- 使用する艇番号は、焼津青少年の家に確認してください。　　様式の変更はしないようにしてください。　　様式改：2020年

海洋活動における地震、津波への対応について

平成31年2月作成

	南海トラフ沿いで発生した異常現象について、南海トラフ地震と関連するか調査開始の情報が発表された場合	南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が相対的に高まったと評価された場合	津波警報 発表時	津波注意報 発表時	緊急地震速報発表時 地震発生時
所⇔艇庫 移動時	・活動継続 ・情報の収集	①活動中止 ②所又は津波避難タワーへ避難 ③点呼	①活動中止 ②所又は津波避難タワーへ避難 ③点呼	※津波警報発表時に準ずる	①活動中止 ②自分の身を守る ③揺れが収まったら、所又は津波避難タワーへ避難
乗船前後		①活動中止 ②最寄りの避難ビルか津波避難タワーへ避難 ③点呼 ※状況に応じて安全が確保されるときは、団体責任者と協議の上、帰所を試みる。	①活動中止 ②最寄りの避難ビルか津波避難タワーへ避難 ③点呼 ※状況に応じて安全が確保されるときは、団体責任者と協議の上、帰所を試みる。	※津波警報発表時に準ずる	①活動中止 ②自分の身を守る ③揺れが収まったら津波避難タワーへ避難 ※津波警報・注意報が発表された場合は、左記の対応に準ずる
乗船中		①活動中止 ②最寄りの緊急上陸地点の岸壁に上陸 ③最寄りの焼津市指定津波避難ビル又は津波避難タワーへ避難 ④点呼 ※状況に応じて安全が確保されるときは、団体責任者と協議の上、帰所を試みる。	①活動中止 ②最寄りの緊急上陸地点の岸壁に上陸 ③最寄りの焼津市指定津波避難ビル又は津波避難タワーへ避難 ④点呼 ※状況に応じて安全が確保されるときは、団体責任者と協議の上、帰所を試みる。	①活動中止 ②最寄りの緊急上陸地点の岸壁に上陸 ※津波到達予想時刻まで時間に余裕がある場合は、乗下船場所に上陸 ③最寄りの焼津市指定津波避難ビルまたは津波避難タワーへ避難 ※乗下船場所に上陸した場合、状況に応じて安全が確保されるときは、団体責任者と協議の上帰所を試みる。 ④点呼	①活動中止 ②乗下船場所または最寄りの緊急上陸地点の岸壁へ上陸 ③焼津市指定津波避難ビルまたは津波避難タワーへ避難 ④点呼 ※津波警報・注意報が発表された場合は、左記の対応に準ずる

活動参加者への注意事項

以下の点を事前に活動参加者に御指導ください。また、次ページに研修生向けの説明資料がありますので、事前指導等にお使いください。

☆　活動の目的を団体指導者と共に確認し、活動参加者が意識しておくようにする。ふざけ半分な状態では活動させない。自然が相手だからこそ厳しく、油断は許されないことを伝える。

（1）活動参加者は、事前に団体指導者から、当日は所員及び海洋指導員から活動についての説明を受け、理解した上で活動に参加する。

（2）運動できる服装で参加し、雨天時に使用する雨具（カッパ）は、上下が分かれるものとする。熱中症予防のため、帽子は必ず着用する。漁船等他船からよく見えるように、目立つ明るい色のものが望ましい。また、あご紐付きなど、風に飛ばされることがないよう注意が必要である。足下の怪我を防ぐため、運動靴、くるぶしが隠れる長さのくつ下を着用する。サンダル（クロックスタイプを含む）は不可とする。

※　服装を整えることが安全に対する意識の第一である。

（3）ライフジャケットを正しく着用する。正しく着用できていれば、万一落水した場合でも体は確実に浮く。落水した場合、つま先を水面に出すように仰向けになって浮かび、静かに救助を待つ。

※　確実に装着することで、安全に対しての意識を強化する。

（4）乗船、下船はカヌーが確実に着岸している状態で、所員または海洋指導員の指示のもとに行う。

※　特に怪我や落水の発生しやすい部分であり、慎重に行う。

（5）乗船中は、所員及び海洋指導員の指示に従う。

※　指示に従えない者は活動を中止する。

（6）カヌーと岸壁との距離が近いときには、手をはさまないようにするため、絶対に船舷（船べり）をさわらない。　**＜赤ペンキで塗ってある所をさわらない＞**

（7）乗船中は、必要のない限り立ち上がったり移動したりしない。

（8）パドルを１人１本持つ。陸上を移動する際は、パドルを地面に突かないようにする。また、船上でパドルを使用しないときには、両足の間に立てて、両手で持つ。

（9）緊急事態発生時（落水、転覆など）は、所員及び海洋指導員の指示に従う。

(10) 活動参加者は、自分の乗船する艇番号と乗船位置番号及び左右を覚えた上で、活動に臨む。また、併せて可能な限り前後左右に誰がいるか把握し、活動に臨むものとする。

水分補給について

活動エリアの大部分が直接日差しを受ける場所となるため、熱中症等の対策が必要です。団体指導者は活動参加者の水分補給について配慮してください。活動の休憩時に乗船者は海洋活動ドリンク（原則：スポーツドリンク）を必ず飲んでいただきます。

（1）レストラン部にドリンクを注文する場合
　食事注文票にてレストラン部に注文してください。注文は、別冊「レストラン利用について」参照。
　所が休憩場所まで運搬し、空容器は所が回収します。

（2）団体がドリンクを持ち込む場合
　団体が運搬し、空容器の処理を行ってください。スポーツドリンクを用意してください。

（3）海洋活動ドリンクとは別の飲料
　気温の高い日などは、海洋活動の前後にも水分をとる方が良いので、麦茶など水筒等を艇庫までお持ちください。海洋活動ドリンクのみでは水分が不足します。麦茶等をレストラン部に注文することができます。
　なお、安全上、水筒等をカヌーに持ち込むことはできません。

海洋活動に参加するみなさんへ

焼津青少年の家の海洋活動は、本物の海で行います。真剣に取り組み、活動を最後までやり抜く心と、仲間と力を合わせて、目的地まで船を漕ぐことのできる根気強さが必要です。安全な活動とするために、所員や艇長の説明や注意が聞けない人や、ふざけていたり不真面目な態度をとったりする人は活動することができない場合があります。とてもやりがいのある活動ですので、がんばって取り組みましょう。

１　服装と持ち物を整えましょう。

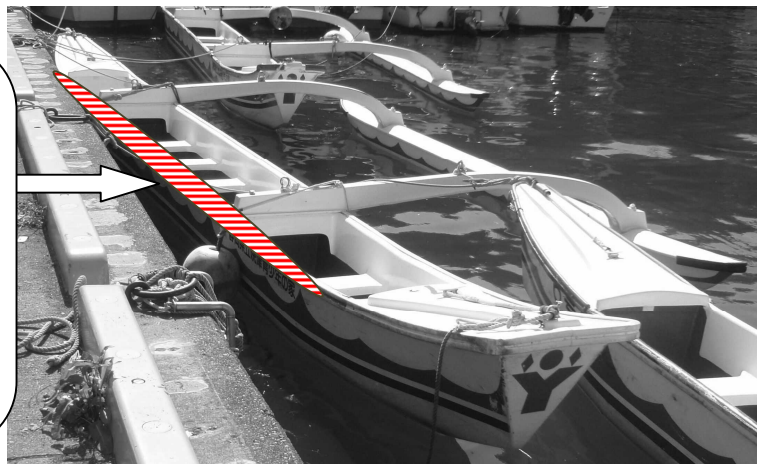
・　運動靴（サンダルなど、かかとやつま先、足の甲が出ている物は不可）
・　くつ下（くるぶしがしっかりかくれる長さ）
・　帽子（明るい色が好ましい）を着用する。（風に飛ばされないよう着用する。）
・　汚れてもよい活動的な服装（塗装が付く場合がある。すそが広がるズボン、スカート、乗り降りの時に引っかかりそうな服装は不可）
・　雨天時に活動する場合には上下に分かれた雨カッパ
　（コートタイプは乗り降りの時、すそが引っかかって危険）
・　本所出発前に、名札、腕時計は外す。

２　所員や海洋指導員の指示を守りましょう。特に、カヌーに乗るとき、降りるときが危険です。注意して安全に乗下船しましょう。

・　乗下船時は落水事故が起こりやすいので慎重に行う。
・　岸の方を向き、船に背を向けて後ろ向きに乗船する。（下船時も同様）
・　カヌーに乗ったら、必要なく立ち上がったり、移動したりしない。
・　接岸時は船べりをさわると岸壁とカヌーの間に挟まれて危険なので絶対に船べりをさわらない。
　（左側の船べりをさわらない）〔下図〕

目立つように赤く塗ってあります。
ここには絶対にさわらないように注意！

「赤いところは
さわらない」



・　パドルを１人１本ずつ持つ。体に沿わせて持ち運び、地面を突いたり、引きずったり、振り回したりしない。
・　パドルは所員及び艇長の指示に従って準備をする。勝手に水に入れたり漕いだりしない。

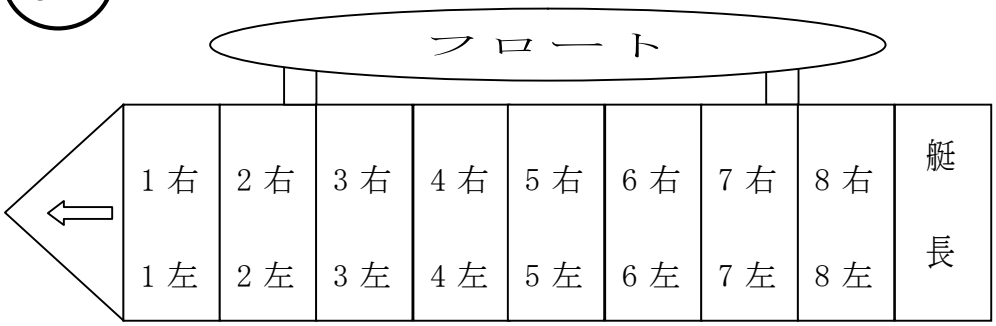
３　ライフジャケットは正しく着ましょう。

・　海に落ちたときにぬげないように、おなかのベルトは十分に締め込む。
（体との間にこぶしが入る程度）また、子供用は股下ベルトを確実に着ける。
・　万一、海に落ちてしまってもライフジャケットを正しく着ていれば体は浮くので、仰向けになり、つま先を水面に出すように浮かび、静かに救助を待つ。

４　自分が乗船するカヌーの艇番号と乗船する席の位置（番号・左右）を覚えておきましょう。

・　点呼や整列が素早くでき、安全でスムーズな活動につながる。
・　前後左右の乗船者が互いに確認できると、安全でスムーズな活動になる。

例　**１号艇**



※ 例　１号艇の「１の右」、「２の左」などと覚えましょう。
座って漕ぐ方向が、右側か左側になります。
一つの席に、１人で座っても、２人で座っても“右・左”を覚えましょう。

海洋活動研修会　実施要項

令和２年度 海洋活動

１　趣　旨　　海洋活動を実際に体験することを通して、活動のねらいや価値付け、安全体制や指導方法への理解を深め、海洋活動を指導する知識や技能を習得する。

２　日　時　第１回　３月 ８日（日）12:40～12:50 受付　13:00 開始　16:00 終了
第２回　４月 14 日（火）12:40～12:50 受付　13:00 開始　16:00 終了
第３回　５月 24 日（日）12:40～12:50 受付　13:00 開始　16:00 終了（予定）
第４回　６月 19 日（金）12:40～12:50 受付　13:00 開始　16:00 終了（予定）
第５回　７月 ４日（土）12:40～12:50 受付　13:00 開始　16:00 終了（予定）
第６回　８月 24 日（月）12:40～12:50 受付　13:00 開始　16:00 終了（予定）
※令和２年度に実施予定の団体は、上記の中で、必ず参加してください。

３　対　象　本所を利用予定の団体のうち、海洋活動を行う団体、または希望する団体の指導者

４　内　容　①　カヌー漕艇研修
②　事前の計画や準備、活動参加者への指導などについての研修
③　安全体制、緊急時の対応についての研修

５　申込み　『海洋活動研修会　参加申込書』(本冊子Ｐ13) で、参加日の２週間前までに申し込む。
提出方法は、郵送、ＦＡＸ、E-mail による。

６　持ち物　○タオル　○カッパ（上下分かれたもの）　○海洋活動ドリンク代※120 円
○筆記用具　○海洋活動（カヌー漕艇）実施の手引き（本冊子）
○必要に応じて水筒、カメラ等　※価格は変更する場合もあり

７　服　装　○運動できる服装　○運動靴（サンダル不可）　○くつ下　○帽子
※　服装についての詳細は本資料Ｐ９～Ｐ10 を参照してください。

８　その他
・　海洋活動を希望する団体指導者は必ず参加をしてください。**研修会に参加していない団体については、海洋活動を実施できません。**海洋活動の実施年度ごとに研修会の参加が必須です。
・　**海洋活動の実施日に担当する団体指導者が、研修会に参加してください。**
・　研修会では、海洋活動の実施日と同じ海洋活動ドリンクをお飲みいただきます。

静岡県立焼津青少年の家
担当　事業班　海洋活動担当
ＴＥＬ　054-624-4675
ＦＡＸ　054-623-0768

FAX送付状不要

海洋活動研修会　参加申込書　令和２年度

記入日　２年　　月　　日

団体名		TEL	
		FAX	
利用予定日	月　　日（　　）～　　月　　日（　　）		
緊急時連絡先（携帯電話）		担当者氏名	

海洋活動研修会参加日

参加希望日に〇印を記入してください。　できましたら第二希望まで記入してください。

参加者数によっては、第二希望への参加をお願いする場合があります。
第二希望にお願いする場合は、当方から連絡いたします。

第一希望	第二希望	実施日	備考
		第１回　３月８日（日）開始13:00　終了16:00	指導者研修会(一般)実施日
		第２回　４月14日（火）開始13:00　終了16:00	指導者研修会(学校)実施日
		第３回　５月24日（日）開始13:00　終了16:00	※第１回 及び 第２回の指導者研修会に参加を申し込まれた方は、この用紙を提出する必要はありません。
		第４回　６月19日（金）開始13:00　終了16:00	
		第５回　７月４日（土）開始13:00　終了16:00	※受付は開始時刻10分前まで 持ち物と服装はＰ12参照
		第６回　８月24日（月）開始13:00　終了16:00	

研修会参加者氏名

番号	氏名	年齢	性別	備考
①				
②				
③				
④				
⑤				

提出期限　：　海洋活動研修会参加日の２週間前まで
提出方法　：　郵送、ＦＡＸ、E-mail
提 出 先　：　焼津青少年の家

行数が不足する場合は、コピーしてください。多くの方に参加いただくことは構いませんが、
参加者数により乗船人数を減らしていただく場合もあります。
複数の方の参加の場合は、乗船される方の氏名等を①から優先順位で記入してください。

静岡県立焼津青少年の家
事業班　海洋活動担当

TEL　054－624－4675
FAX　054－623－0768
E-mail　YCC-yaizu01@pref.shizuoka.lg.jp

海洋活動申込書(事前調査書)

※ 利用申込書とあわせて、使用日の前月1日（4月、5月利用団体は使用日の前月10日）までの提出をお願いいたします。
※ 海洋活動研修会の内容を御理解の上、団体の活動目的に応じて御記入ください。

団体名				担当者氏名	
電話番号		FAX番号		海洋活動研修会参加日	月　日　□参加済み・□予定
活動予定日	月　日（　）午前　・午後			予備日の設定（希望） ※御希望に添えない場合もあります。	あり　→　月　日（　）午前・午後 なし

1．海洋活動の実施について（この研修をするにあたっての目的や、活動に期待することなど）

		要望等
①（　）	体験重視（自然活動の体験、海を楽しむ活動）	
②（　）	運動重視(負荷をかけ、心身の鍛練をはかる)	
③（　）	行動重視(規律訓練、集団行動、チームワークの育成)	
④（　）	その他　団体の活動目的、目標のため	

2．活動方法についての希望　※ コースについては「海洋活動エリアマップ」(『海洋活動の実施の手引き』表紙裏）を参照

コース選択	コース名	概要
①（　）	造船所・赤灯台コース	全艇での活動、艇庫休憩、徒歩移動なし（1回目：造船所、2回目：赤灯台）
②（　）	赤灯台コース	乗換えでの活動、艇庫上陸乗船者交代、徒歩移動なし
③（　）	アクアスコース	全艇往復での活動、鰯ヶ島岸壁上陸休憩、休憩地点までの徒歩移動不可
④（　）	小川魚市場往復コース	全艇往復での活動、小川魚市場上陸休憩、乗り換えなし
⑤（　）	小川魚市場乗換コース	乗換えでの活動、小川魚市場上陸乗船者交代、半数は徒歩移動
⑥（　）	その他【短縮コース等】	短い造船所コース、その他短縮での活動 など・・・ 要望等にお書きください。

＜要望等＞　※ コースは実施当日の天候や状況により、御希望と異なる場合があります。
※ 諸事情により活動の御希望に添えない場合があります。

3．乗船者について　※ 希望艇数については「参考資料」(『海洋活動の実施の手引き』P16）を参照

乗船者	研修生			指導者			計			合計		希望艇数
		男	人		男	人		男	人		人	艇
		女	人		女	人		女	人			

配慮を要する研修生について（活動への参加状況など）　※ 記載された情報は海洋活動を安全に行う目的以外には使用しません。

4．ドリンクについて

□レストラン部に注文済み
□レストラン部に注文予定
□団体で用意

5．その他要望等

受付日	所長	所長補佐	事業班長	事業班員	海洋担当
月　日					

様式改：2020年

静岡県立焼津青少年の家

焼津青少年の家　海洋活動　乗船者名簿

月　　日（　　午前　　午後　　）	艇数:	団体名:	記入者氏名:
			乗船者人数計:

☆＝声出しリーダー　〇＝団体指導者　　特に配慮が必要な研修生は打合せで確認します。

			1号艇	2号艇	3号艇	4号艇	5号艇	6号艇	7号艇	8号艇
往復・往路・復路・第1回目・第2回目・第3回目	1	右								
		左								
	2	右								
		左								
	3	右								
		左								
	4	右								
		左								
	5	右								
		左								
	6	右								
		左								
	7	右								
		左								
	8	右								
		左								
乗船者数										
※艇長										
※確認			乗船 下船 乗船 下船 □□□□	乗船 下船 乗船 下船 □□□□	乗船 下船 乗船 下船 □□□□	乗船 下船 乗船 下船 □□□□	乗船 下船 乗船 下船 □□□□	乗船 下船 乗船 下船 □□□□	乗船 下船 乗船 下船 □□□□	乗船 下船 乗船 下船 □□□□

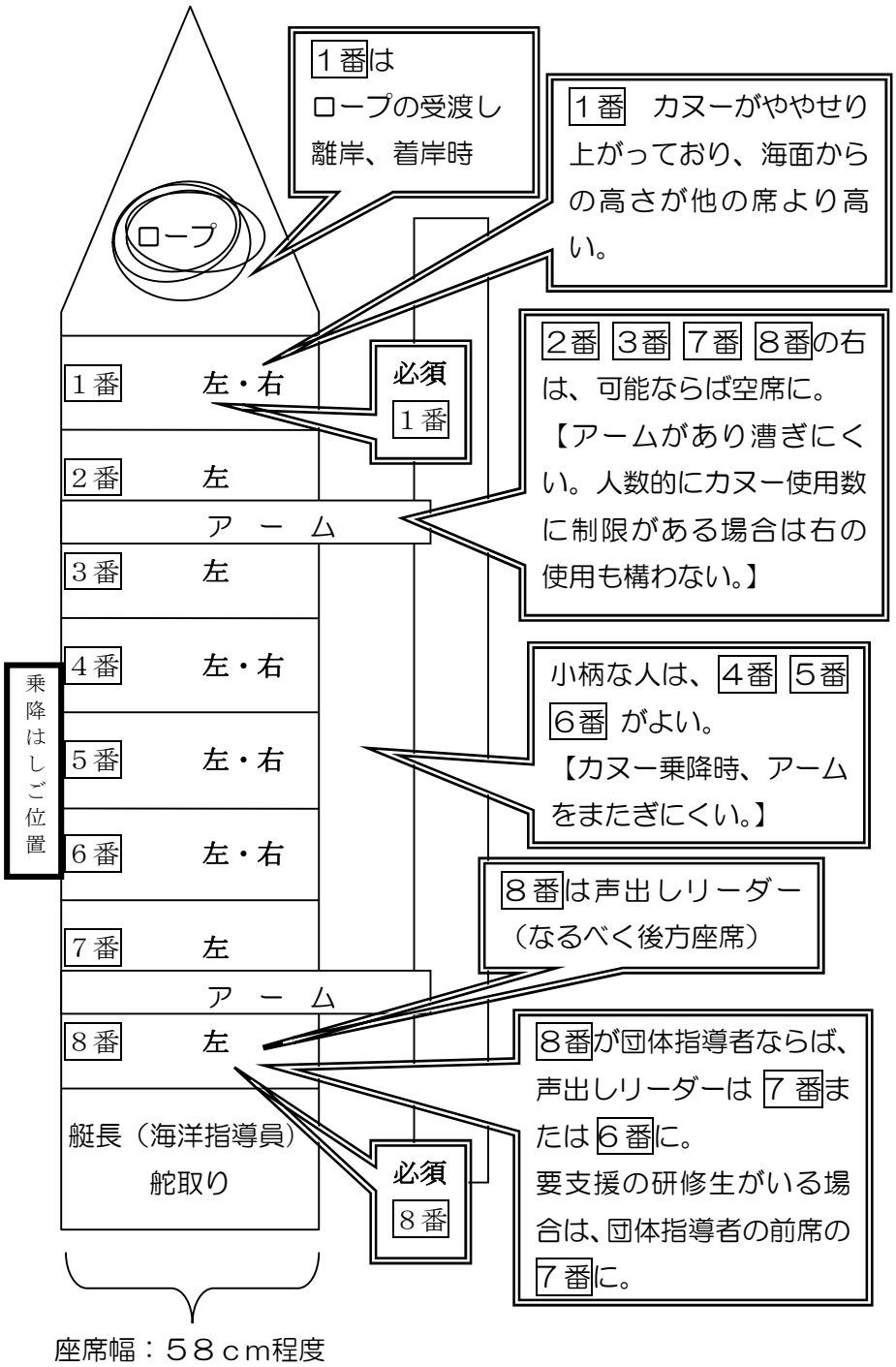
- ※欄は記入しないでください。1座席に2人座る場合は、2人記入してください。（上段が右席、下段が左席）
- 1番席及び8番席は空席にならないようにしてください。前詰め、後詰めせず、各席に均等に配置してください。
- 声出しリーダーや団体指導者は、8番席でお願いします。　両方乗船する場合は、声出しリーダーが7番席、団体指導者が8番席になります。
- 欠席や体調不良で乗船者に変更があった場合は、必ず御連絡ください。連絡後は左席・右席も含め座席変更はできません。
- 入所日の5日前までに「焼津青少年の家」に必着で提出をお願いします。（FAX, Email可：054－623－0768 YCC-yaizu01@pref.shizuoka.lg.jp）
- 使用する艇番号は、焼津青少年の家に確認してください。

様式の変更はしないようにしてください。　　様式改：2020年

参考資料　　乗船者名簿の座席指定・座席番号札について

- 乗船者名簿を作成する際の参考にしてください。Ｐ７の作成例と重複することもあります。
- 令和２年より座席番号札を身につけていただくことになりました。所で配布しますので、安全上の観点から御理解をお願いいたします。
- 座席番号札をつけることにより乗船者名簿の様式を改訂しました。
  改訂前は、１人で座る場合は左右の指定は問わず作成していただきましたが、改訂後は左右のいずれかに乗船者を指定（記名）していただくことになりました。

図　カヌー乗船人数小学生 12 人
モデルケース



座席幅：５８ｃｍ程度
【２人掛けの際は体格の確認を】

使用艇数の目安	
使用艇数	１回での乗船者人数
１	～　１３
２	～　２６
３	～　３９
４	～　５２
５	～　６５
６	～　７８
７	～　９１
８	～１０４

２人掛け（左・右とも着席）乗船の例です。

小学 4 年生の団体の多くは、1 艇あたり概ね 12～13 人を目安としています。

１艇あたりの乗船可能最大人数は乗船者の体格によります。

使用可能艇数により、希望艇数を減らしていただく場合もあります。

16 ページ一部改訂：3月 19 日